

海外安全対策情報（2020年4月～6月）

1 社会・治安情勢

ウガンダでは、携帯電話の窃盗や夜間の住居侵入、強盗などが頻繁に発生しており注意が必要です。特に、夕方以降暗い時間帯の徒歩移動、人通りが少ない路地、外国人が少ない地区などは犯罪に巻き込まれやすいので避けてください。

新型コロナウイルスの影響で、3月以降日本人を含むアジア人への風評被害が発生しました。現在は落ち着いてはいますがローカルマーケットなど外国人が少ないエリアへの立ち入りは極力控える等の予防対策が必要です。

また、新型コロナウイルス感染者は累計953名（7月6日現在）となっており国境の閉鎖、夜間帯の外出禁止、マスクの着用などの拡大防止措置が継続してとられています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪

(1) 邦人被害事案 邦人の犯罪被害は発生していません。

(2) 最近の治安状況（参照：ウガンダ警察 犯罪報告書2019年）

ア 犯罪件数の推移 : 前年比約1割減の傾向

イ 増加した事件 : 殺人, サイバー犯罪, 汚職関連

ウ 被害件数が多い順 : 窃盗, 強盗, 性犯罪, 家庭内暴力, 詐欺, 住居侵入

3 テロ・爆弾事件発生状況

ウガンダに関して、テロ・爆弾事件は2010年7月以降発生していません。しかし、2019年4月に発生したスリランカの同時爆発事件をはじめ予期なく発生する誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした子供、女性の誘拐事件が多数発生しており邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中の夜間移動

は控え警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

書類の偽造や詐欺事件などが発生していますので取引の際は慎重な審査、調査を行ってください。事務所、自宅への侵入事件が多発しており居住エリアの選定において、周囲の治安情報を収集しソフトターゲット（防犯能力が低く狙われる対象）にならないよう、セキュリティがしっかりした物件を選び、入居後も侵入が容易な場所はないか定期的にチェックし警備レベルの維持向上に努めてください。

以上